

はじめに

全世界196ヶ国のうち開発途上国と呼ばれる国は140カ国以上もあります。それらの国の現状や課題、あるいは歴史的背景や先進国との関係などを知らずして、世界の今は語れません。多様な民族、言語、文化、暮らし、考え方、宗教などがあることに興味を持つ好奇心と、その多様性や違いを尊重する謙虚な姿勢がないと、グローバル人材は育成できません。

独立行政法人国際協力機構（JICA：ジャイカ）は、開発途上国における事業で培った経験と人材を活用し、日本国内の国際教育の発展に寄与するための活動として「開発教育支援事業」に長年にわたり積極的に取り組んできました。開発途上国の抱える問題に関心を持ち、全国の小・中・高等学校・特別支援学校において国際教育に取り組んでおられる、または今後それらに取り組むことを考えておられる教員の方を対象に実施してきた「教師海外研修」もその事業のひとつです。

しかし、コロナ禍により海外での活動縮小を迫られた2020年度は、海外研修を実施することができませんでした。そこで、中国地方から過去に「教師海外研修」に参加され、現在に至るまで継続的な授業実践を展開されている教員の方を対象に、「開発教育教員研修アドバンスコース」を実施いたしました。本コースに参加された6名の教員の皆さんは、中国地方において日本の課題や地域の国際化を学ぶことのできる現場を訪問し、多文化共生に取り組む方々の想いや活動への理解を深められました。その成果として、同研修に参加された教員の方が「熱いハート」と「クールな頭脳」を駆使し、フィールドワークや講義から吸収した多くの情報をもとに、一般の教職員の方にも教室ですすぐにご活用頂けるよう作成されたのが、この「学びのプログラム」です。

本冊子が、「持続可能な社会の創り手」である児童生徒の育成に尽力されている教職員の皆さまの参考となり、学校教育現場での実践の一助になれば幸いです。

独立行政法人 国際協力機構 中国センター所長

岡 田 務